



# いなほ

稲積神社社報

第11号

平成11年5月3日発行

## 奉祝 天皇陛下御即位10年



### 稲積神社御鎮座四百年奉祝

記念事業に御協力下さい。

#### 例大祭式次第

(修祓)

宮司一拝

宮司御扉を開く

神饌を供す

宮司神前に祝詞を奏す

玉串拝礼

宮司遷御の祝詞を奏す

遷御

宮司発御の祝詞を奏す

宮司一拝

発御

#### 平成十一年度正ノ木 例大祭神賑行事(予定)

四月二十八日(水)

献木祭 午前十時

甲府商工会議所(境内)

五月二日(土)

前夜祭 午後六時(社殿)

飯野のり子歌謡ショー(舞台)

午後七時～九時

五月三日(月)

大祭 午前十時

御輿渡御 午前十一時

奉納相撲 午前十一時～午後四時

御神酒班酒 午後十二時～午後三時

甲府囃子 午後一時～午後二時

バザー 午後二時

カラオケ大会

午後六時～午後九時

五月四日(火)

大祭特別祈願祭 二ノ祭

田代ひばり歌謡ショー(終日)

五月五日(水)

三ノ祭

神楽 終日(舞台)

終了祭 午後六時(社殿)

# みたまのふゆ

宮司 根津泰昇

臓器移植法が、平成九年十月に施行されてより、国内初の脳死移植が二月二十八日におこなわれた。テレビ映像で、脳死患者から摘出された心臓、肝臓、腎臓、角膜は患者の待つ病院へ転送されている模様を見て、一人の死をもって一人の生命を救う、生命のリレーは心に残るものがあつた。

死には、「心臓停止」「脳死」の二つがあり、法律の問題点についても今後検討を続ける課題も残されていますが、様々な論議もあるでしょうが、生命の尊さを感じさせられた出来事でした。私達の生命は、自分で与えて欲しいと願ったものではありません。神様に祈られて生まれてきたと思います。

祈られて生まれてきた私達は、幸せにならなければいけません。幸せになるためには、私達が祖先から受け継いできた信仰を心得ることです。真摯な祈り、信仰は必ずや大神様から有り難い助けの手が差し伸べられ幸せの道程を歩ませてくれるに違いありません。生きている限り、楽あれば苦

あり、苦あれば楽あり。苦の時に祈り、楽の時に神恩感謝し、合せて祖神を尊ぶ祈りを繰り返して、繰返し続ける事が生きている証であり人生であります。

大神様は、私達の目の前にお姿を表わしていただけません。又お言葉もおかけ下さいません。しかし大神様は、いつも私達の日常生活を見守って下さっております。身心に罪、穢れが生ずれば、ただちに不利益を与えます。明き清き身心で生活するならば必ず御神徳をお与え下さいます。

私達は、生命があり、生きていく限り、世の為、人の為にお役にたてるよう、信仰、祈り続けながら、生かされている事に感謝する心が大切なことと思います。

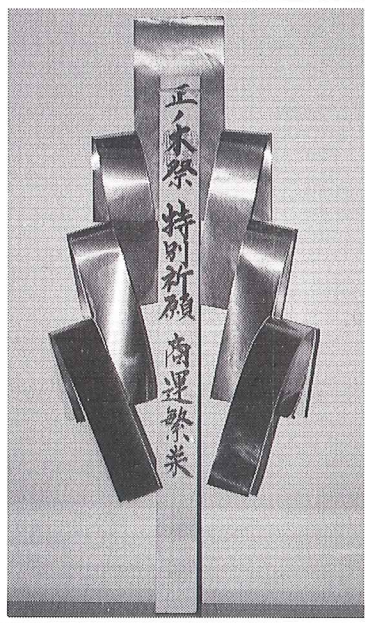


崇敬者各位には、毎日を大事に生活なされ、大神様の御神徳をお領かちいただき、幸せな生活をお営み下さることをご祈念申し上げます。

## 御神徳

うかのみたまのおおかみうけもちのかみ  
宇迦之御魂大神は保食神とも申し五体より稲、  
麦など種々の物を生みだした大神様で田畑の  
福徳、果実、養蚕満足、商工業繁昌の守護神、  
即ち衣食住の靈威ある大神様である。  
一、大宮能売大神は鎮魂八柱の一神又、岩戸神楽  
の神で身体靈魂の神、開運、家運隆盛、開業、  
開店、和合愛敬、飲食等の福を授ける靈威ある  
大神様である。

## 御祭神



## 正ノ木祭特別祈願

毎年五月二日から五日までの四日間、稲積神社では例大祭が盛大に執り行われます。

当社の例大祭は、古くは千両祭と称され、四百年の歴史と伝統が今なお保持されています。

大祭期間中の四日と五日に限り大祭特別祈願祭が斎行されます。

御祈願は社務所の御祈願受付に住所、氏名、そして御希望の祈願を申しこめば昇殿できます。

願いごとの主なものは、家運隆昌、家内安全、商売繁昌、交通安全、厄除、進学成就、学業成就などです。

御神徳を戴きよりよい生活を営まれますよう特別祈願をお勧めします。

御祈願の方には大祭特別祈願成就金幣が授与されます。

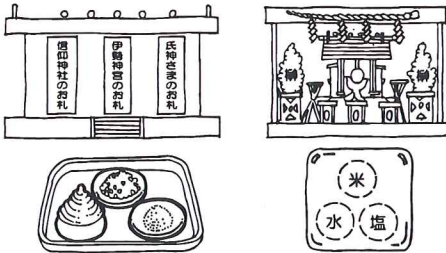


祭典行事歴

(五月〜十月)

- 毎月 一日 月始祭
- 三月 月並祭
- 十五日 神恩感謝祭
- 古神札
- 焚上げ祭
- 四月二十八日 献木祭
- 五月 二日 正ノ木大祭前夜祭
- 三日 正ノ木例大祭
- 四日 大祭特別祈願祭
- 二ノ祭
- 三ノ祭
- 五日 正ノ木大祭終了祭
- 六月三十日 夏越大祓
- 八月 富士ヶ嶺開拓祭
- 十月 一日 布団供養祭
- 金刀比羅祭
- 三日〜五日 甲府伊勢講千社参りの旅
- ひがし北海道 二泊三日の旅

神棚のまつり方



御神札（おふだ）をいた  
だいたら神棚にお祀りします  
神様と毎日常生活を共にし  
ている、守られているとい  
う意識が家庭内の心の安ら  
ぎを醸しだします。

日々のお祭り

神様には、毎日、食前に、  
米、塩、水をお供えします。  
上図のように、三方か折敷に  
のせてお供えします。その他  
珍しいもの、季節のもの等お  
供えします。特別な日には、  
お酒、野菜、果物等もお供え  
すると良いでしょう。

建築・諸祭

地鎮祭

建築に関わる神事はいくつかありますが、工  
事始めに土地をお清めし、工事の無事を祈  
願する祭です。

新室祭・家堅

近年建築様式が変わり上棟式が少なくなり  
ましたが、無事完成し、又は、住宅を購入など  
入居に際し建物をお清めする祭です。

車 祓

自動車やバイクなどを購入された時は  
おはらいを受けましょう。

正月参り

歳旦歳ともいい、新年を迎え年の始め  
に一年の祈願をします。

人生儀礼

安産祈願

初宮詣り

七 五 三  
成 人 式

結 婚 式

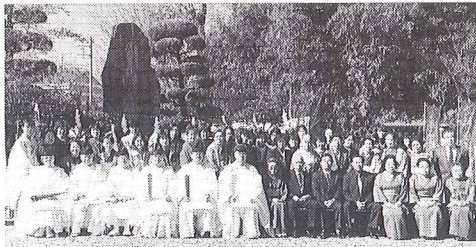
厄年・年祝

ま・つ・り

家族おそろいで一年に一度は神社におまいりしましょう。

あ し あ と

第三十三回針供養祭



山梨県和服裁縫組合、日本和裁士会山梨県支部主催による  
針供養祭が去る二月八日、こと始めの日に当神社に昭和四十  
五年に建立された針供養塔の前で斎  
行された。

当日は穏やかな日和になり当神社  
雅楽会の雅楽の音が流れる中で針供  
養祭が斎行された。

日頃針仕事に携わる和裁士の方々  
が針に感謝の心をこめお参りされて  
いた。

この針供養祭は県内では当神社の  
他はなく、また折れた針や古くなっ  
た針を供養するために特大のコンニ  
ャクにさす方法も特殊である。  
物を大事にし感謝する心を忘れな  
いようにしたいものだ。

スキーツアー開催

崇敬青年会（樋川久会長） 五千円、小人四千五百円で、  
スキー部（松田裕部長）主 スキー部全員による無料のス  
キースクール開催や、朝食、  
おやつ、飲物付で初心者から  
上級者まで楽しめるよう企画  
がされている。

今年（今年）は四十三名の参加者  
があり大型バス一台、マイ  
クロバス一台で行なわれた。  
ツアー内容は参加費大人  
がです。

来年こそはスキーを始めて  
みたい方、雪道の運転が苦手  
な方は参加してみても、いか  
がですか。

崇敬青年会会員募集中！

### \*甲府伊勢講ご案内

ひがし北海道二泊三日の旅

ノサップ岬から眺める北方領土、根室金刀比羅神社参拝と釧路湿原、納沙布岬、摩周湖展望、阿寒湖遊覧：

日本最東端に位置する納沙布岬は、海峡を挟んですぐ目の前に貝殻島や水晶島などの北方領土を眺望できます。

今回は一日も早い北方領土返還と「こんぴら様」のご神徳を戴きますよう計画いたしました。

◆お申し込みお問い合わせ先◆  
伊勢講世話人、神社々務所  
平成十一年十月三日(日) 五日(火) 三日間

○ご旅行代金 お一人 79,000円  
○募集人員 120名

□日程□	10月3日(日)	4:00甲府	→中央道→首都高速→羽田空港	→釧路空港	→丹頂鶴	17:00甲府
					→釧路湿原展望台	→釧路市内(昼食)
					→根室金比羅神社正式参拝	→根室(泊)
	10月4日(月)	8:00根室	→納沙布岬(北方領土眺望)	→弟子屈(昼食)	→摩周湖展望	
					→硫黄山	→阿寒湖遊覧
					→阿寒湖温泉(泊)	
	10月5日(火)	8:30阿寒湖	→網走監獄博物館	→網走海鮮市場(昼食~お買物)		19:30甲府
					→女満別空港	→羽田空港
					→首都高	→中央道
						→甲府
□ご宿泊	10月3日(日)	根室市内……根室グランドホテル				
	10月4日(月)	阿寒湖温泉…阿寒グランドホテル鶴雅				

### 雅楽

貴方も始めてみませんか。

雅楽は九重の雲の上の音楽のようで、われわれの日常生活とは遙かにかけ離れた、縁の遠いもの、難しいものと思っ  
ている人が多いが、決してそのような事はない。  
例えば、おめでたい結婚式での三三九度の固めの盆のバックミュージックとして演奏されるのは、たいいてい「越天楽」である。

また最近ではテレビ、ラジオのコマーシャルにも使われているのでお耳にした方も多いと思う。  
また普段なにげなく使っている言葉にも雅楽から出たものが多い。

たとえば「千秋楽」、相撲や演劇などの興行の最後の日を「千秋楽」というが、これは雅楽の曲の名であり、「萬歳楽」との二曲を重ねて「千秋萬歳」といって、長寿、繁栄を祝う言葉となった。  
謡曲の「高砂」の最後に「千秋楽には民を撫で、萬歳楽には命を延ぶ」という文句があつてこれは演能の最後に付祝言として謡われたもの

で興行の最終日を千秋楽というようになったと思われる。  
この他、「二の舞を踏む」「二の句がつけない」「打ち合わせ」などいろいろある。  
意外と身近な音楽である雅楽を貴方も始めてみませんか。

稽古日：毎週水曜日  
午後五時から八時まで  
稽古場所 神社参集殿

### 瑞垣竣工

御鎮座四百年奉祝記念事業第二期工事が四月中旬で完成致しました。

概要は、第一に彩色瑞垣塙工事。彩色の説明ですが、調度品に五色絹(紫又は黒。赤白黄緑)があります。紫又は黒と赤は、鉱物を原料とするもので建造物(住)に使用し



国旗セット  
(国旗・竿・金色冠頭・取付金具・収納袋付)  
頒布価格 一、五〇〇円

### 編集後書

いなほ第十一号をお届けします。全国各地で行なわれた春祭の納めともいえる正ノ木祭です。今年の五穀豊穡と平和な世を願うものです。  
昨年より始めた当社の一坪神饌田も愈々田植えの準備に入ります。日本民族の文化伝統の継承は元より国土の保全、治水治山の為にも稲作を守り続けなければなりません。

祝祭日には  
国旗を上げましょう!!  
神社々務所でも頒布しております。

命継ぐ食もの衣もの住むいへも  
稲荷の神の恵みなりけり

## 稲積神社

甲府市太田町公園内鎮座  
電話 (055)233-5573  
FAX (055)226-0787